

2015 前期 LS(本)

受験番号

2015 年度 甲南大学法科大学院入学試験問題

専門論文試験 民事訴訟法・刑事訴訟法

(120分)

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで問題冊子を開いてはならない。
2. 問題は2ページである。印刷不鮮明、汚損等があれば申し出ること。
3. 解答用紙は民事訴訟法と刑事訴訟法各1枚である。解答用紙には裏面もあるので注意すること。
4. 解答は、該当する科目の解答用紙を使用すること。解答用紙を誤った場合、その答案は無効となる。
5. 答案は、横書きとする。
6. 答案は、実線内の番号に従って書き進めること。
7. 答案は、黒ボールペンまたは黒インクの万年筆で記入すること。これら以外で記入された答案は、無効となる。
8. 答案を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、1行の場合には横線で消して、その次に書き直すこと。
9. 下書きには、問題冊子の余白を適宜利用すること。
10. 問題冊子は必ず持ち帰ること。

専門論文試験 民事訴訟法

【問題】 以下の事項、用語、あるいは原則などについて説明しなさい。

- 〔1〕 管轄の合意
- 〔2〕 自由心証主義
- 〔3〕 選定当事者
- 〔4〕 主張責任

専門論文試験 刑事訴訟法

【問題】

以下の項目、用語ないし原理などについて、簡潔に説明せよ（なお、判例を前提にする）。

- (1) 職務質問に伴う所持品検査の可否と限界
- (2) 逮捕勾留中の被疑者と弁護人の接見について
- (3) 訴因の役割について
- (4) 鑑定と検証の証拠法上の意味と証拠能力